

祝☆開校50周年



みどり

緑小PTAだより



平成20年3月14日

第184号

発行・千歳市立緑小学校PTA広報委員会

元気いっぱい みどりっ子!

3学期



→*2月14日【1年生・2年生とソリ滑り】～「2年生と一緒に遊んだよ」「みんなでチューブののって楽しかった!」



↑*2月21日【2年生・授業参観「明日へジャンプ」】～「今まで育ててくれて、ありがとうございます。」感謝状にお母さん方もにっこり。



↑*2月6日【3年生・サケ・マス孵化場見学】～「お魚に、えさをあげたよ」「オスとメスの違いがわかったよ!」



↓*3月3日【4年生・3年生をお茶にご招待】～「4年生、かっこいい!」「お茶は思ったより苦くなかったよ」



↑*2月28日【4年生・科学技術大学実験授業】～「お湯と雪で電気が作れるんだ!」「すご〜い!」



↑*2月29日【6年生を送る会】～6年生と3年生で協力して、くねくね怪人をやっつけろ!「6年生は喜んでくれたかな」



↓*2月7日【5年生・幼児教室】～「その絵、じょうずだね!」「おねえさんたち、やさしいなあ」



←*2月～3月【6年生・園工・卒業制作「私のいす」】～古い黒板の廃材を利用して、自分でデザインしたイスを手作り。特別講師は教頭先生。「このデザインいいねえ!」「自信作です」



寒くても、
へっちらら!

冬の行事*あれこれ



親父の会主催 もちつき大会

毎年恒例になった、親父の会主催の「もちつき大会」。今年は、地域の町内会と合同で、冬休みも間近の12月15日に開かれました。臼と杵を使ってお餅をつくのは実はとっても大変。子どもたちがちょっぴり手伝った後は、大人達でがんばったそうです。翌日、腕や肩が筋肉痛、と言うお父さんはいませんでしたか? 裏方でおいしいお雑煮やたれなどを作ってくださったお母さん方も含めて、お疲れ様でした!



たれは、あんこに、きなこ、さとうじょうゆ、だいいこんあろしに、めんつゆとより取り見取り! 「おいしかったよ〜」

おぞうには、昆布だしで味もばっちりよ!



どの学年も快晴! スケート記録会

学年毎に行われた、スケート記録会。お家の方がたくさん見に来ていました。低学年では、スケート靴紐しばりのお手伝いのため、練習の時も含めて来てくださっていたお家の方も。寒かったけど、子どもたちの上達の早さにはびっくり!



ずべるフォームが、きまってるでしょ? (2年生・1月29日)

最後まで、真剣勝負だ! (5年生・1月29日)



滑り終わった子どもたちにインタビュー

- 4年生~「しんどかったけど、前の記録より速くなった。」
- 5年生~「最初は1位だったけど、抜かされてくやしかった。でもお母さんが『がんばったね』と言ってくれたからうれしかった」
- 6年生~「最後なので、悔いの無いようにがんばった!」

卒業を祝って… 6年生を送る会

2月29日に開かれた「卒業生を送る会」では、どの学年も、工夫を凝らした出し物を、一生懸命に披露していました。感謝の言葉を大きな声で言って、「おしりかじり虫」ダンスがかわいかった1年生、お笑い&エアギター対決で笑わせた後に、運動会での思い出のタワーを再現してしみりとさせた2年生、くねくね怪人登場で楽しいゲームの後に、「栄光の架け橋」の演奏でエールを送った3年生、一人一人の得意なことを1つ1つ唱えていって、6年生全員的笑顔を引き出すことに大成功した4年生、1年間の主なニュースを振り返りながらクイズを出すという、高学年らしい出し物だった5年生、それぞれに、心がこもっていました。そして最後に、クイズ付きのリコーダー演奏と、きれいな歌声で6年生が締めくくりました。



6年生3人組のお笑いに、みんな大爆笑! 笑いのツボをしっかりと押さえて、つっこみも絶妙。



「ピリッス・ブートキャンプ」も飛び出した、5年生の時事ニュースクイズ。



みんなに見送られ、てれながら退場する6年生。

まだまだあります！！

開校50周年記念特集

今年度、開校50周年を迎えた緑小学校。全校をあげて準備し、記念式典を始め、色々なことがありました。19年度ももうすぐ終わりですが、広報委員会では、未だみなさんに知られていないエピソードの数々を発掘いたしました。子どもたちのがんばりや裏方さんの苦勞などなど…。緑小のよさを改めて感じるエピソードばかりです。

50周年特集 Vol. 1

「みどりっ子代表として、がんばった！」 記念式典に向けて活躍した子どもたちにインタビュー

CD「マイ・スクール＝ミドリ」の作成のために結成された、『みどりっ子合唱隊』の子どもたちに、インタビューしました。



広報「一番大変だったことはなんですか？」

A子「歌詞が長かったから、覚えるのがけっこう大変だった。」

B子「10人以上いたから、歌声を合わせるのがむずかしくて、何度も練習しました。」

C子「録音は休み時間にやったんだけど、しーんとしている時をねらってやっても、どこかの声が入ったり、歌声が小さくしか入らなくて、何度もやり直したんです。大変だった〜。」

D男「自分では高い声を出しているつもりでも、『もっと高く！』とか言われたりして、自信なくしたこともあったな。でも、がんばって練習したら、高い声が出るようになったよ。」

E男「そうそう。やっぱり、やってよかったよね！」

50周年記念式典の中で、司会やプレゼンテーションで活躍した子どもたちに、インタビューしました。

広報「みなさんはいつ頃から準備したのですか？」

F子「プレゼン係は、1学期の終わりぐらいから集まって練習を始めました。」

G子「緑小の昔と今とが、色々な資料を先生がパソコンに作ってくれて、パソコンとタイピングを合わせて話すのが、難しかったです。」

H子「式典が近づいてきたら、毎日のように残って練習しました。体育館でもやったし。」

広報「司会を担当した人たちは、やってみてどうでしたか？」

I子「『ハキハキと』、『大きな声で』、『言い間違えないように』、『ゆっくりと』という話すときに気をつけることがいろいろとあって、けっこう難しかったです。」

J子「文章も、長かったしね。」

K男「本番は緊張したよ。でも、うまくいってよかったよね！」

広報「みなさん、がんばったんですね！式典も歌もすばらしかったと大評判でしたよ。お疲れ様でした！」



50周年特集 Vol. 2

「『マイ・スクール＝ミドリ』をずっと歌い続けてほしい」 作曲者の岸田典大さんにインタビュー

さる12月19日「マイ・スクール＝ミドリ」を作曲してくださった絵本パフォーマンス岸田典大さんをお迎えして『絵本パフォーマンス&合唱集会』が開かれました。集会のため来校くださった岸田さんに、歌作りの裏話などをお聞きました。

広報「作曲に当たって気をつけたことはありますか？」

岸田「まず、歌詞は、4人の子どもたちが考えてくれたものをもとに、少し言葉を付け足しながらミックスして完成させました。子どもたちの作った詩には、大人の自分では絶対に思いつかない部分もあって、小学生ならではの目線を大切にしました。例えば、サビの部分の「大好きだ」というフレーズでは、自分の学校を大好きと言えるのはすごいなあと…。「木々をくぐれば見えてくる」も、なるほどと感心しました。作曲では、曲調について、最初に学校から「手拍子できる歌」という話があり、それを意識して作りました。デモ演奏の段階ではもっと元気に調子よくといった感じでしたが、最終的には柔らかな感じになってよかったです。」

広報「この歌を通して、子どもたちに伝えたいことはありますか？」

岸田「この歌は、前向きな言葉ばかりできています。これから成長していく中で、暗い気持ちになったり、いやな言葉を聞いたとき、そのネガティブな気持ちや言葉を追い出して、元気を取り戻すために、この歌を使ってほしい。自分たちのために作られた歌なんだということに自信を持って、歌い続けてほしいです。」

50周年実行委員会事業部を中心に、記念に残るものをと考えて生み出された様々な木の作品。一体いくつ作ったのでしょうか? この一年で制作された作品をここに一堂に集め、ご紹介いたします。

本を読むためのベンチを作ろうという思いから始まったS型ベンチ作り。あっさり軽小のシンボルめ存在になったが、制作にあたり、実は、脚部にも色々こだわりのあったのだ...

機関車の後ろには、ベンチがすわり、大人が何十人座ってもびくともしない、丈夫さです☆

1 SL型ベンチ



子どもたちに大人気で、できたばかりの時は一日中鐘が鳴り響いていた。しかし鳴らしすぎて故障、修理中??



本物そっくりで、今にも走り出しそうな重箱。バネは、お湯で煮て曲げるという、こだわりようです!!

2 丸テーブル



なんと!釘を!本も使わず、切り込みを入れて、はめ込む本格的な構造。脚と天板の部分が分解可能です♪

5 時計台



4 テーブル用ベンチ



3 飾り棚



6 色々な模様



これ以外にも梁山の作品を作り出していたのは、校内にある「秘密の部屋」...!



編集後記

☆どんなふうにするのか、全くわからな
いまま参加しましたが、先生達のおかげ
で、何とか形にすることができました。い
ろいろな経験をする事ができ、楽しか
つたです。ありがとうございました。

《小山、緒方、福田、伊藤》

「マイスクール・ミドリ」の歌詞を飾るための模様、体育館にあります。みなさん、ご存じでしたか?

